

## 凸版印刷とトラストメディカル、体外診断用医薬品を製造する新会社を設立

疾病の診断などで使用される体外診断用医薬品の  
開発から製造、医療機関の手元に届くまでをワンストップで提供可能に

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:磨 秀晴、以下 凸版印刷)と、日本モリマー株式会社(本社:大阪府大阪市、代表取締役社長:森 修平、以下 日本モリマー)の子会社で、体外診断キットの開発/製造を手掛けるトラストメディカル株式会社(本社:兵庫県加西市、以下 トラストメディカル)は、血液や尿、唾液などにより疾病の診断/検査を行う際に使用される体外診断用医薬品の製造を行う新会社「トッパンメディカルファクトリー株式会社(以下 トッパンメディカルファクトリー)」を設立。2020年11月より事業を開始します。

これにより両社のノウハウを融合させ、体外診断用医薬品の開発から製造、医療機関の手元に届くまでをワンストップで提供することが可能になります。



トッパンメディカルファクトリーで製造する体外診断用医薬品の一例

### ■ 設立の背景

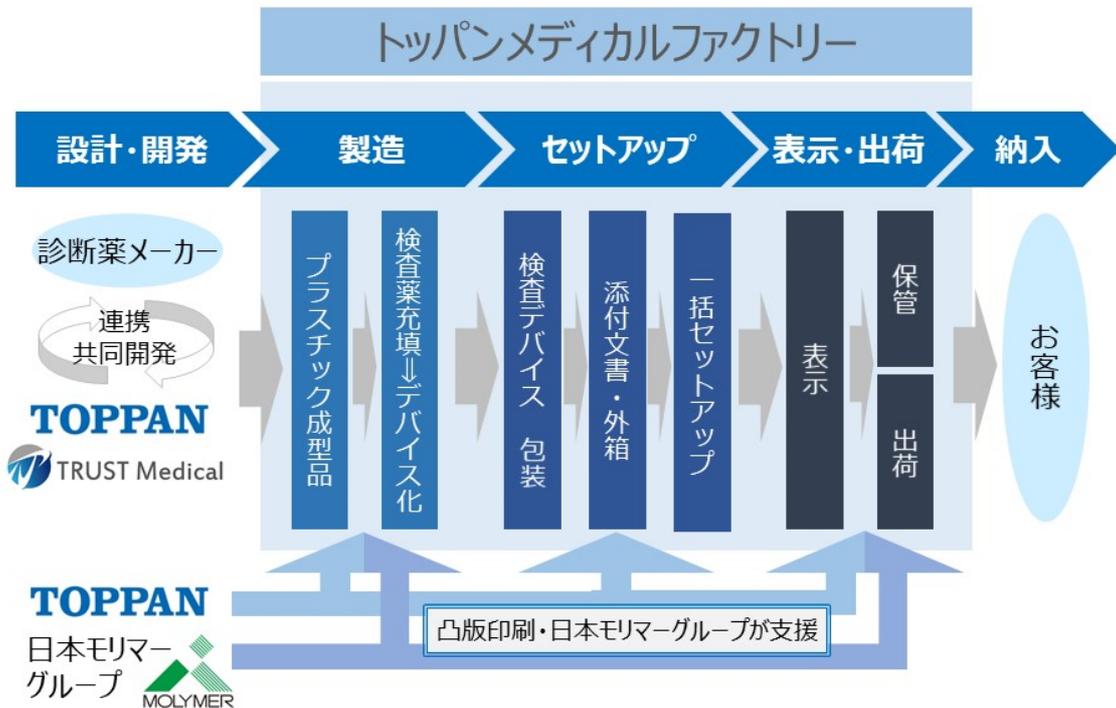
医療現場において、病気の診断/治療/早期発見に無くてはならない手段として、さまざまな臨床検査が行われており、全世界で健康寿命延伸への取り組みが加速していることから、今後も加速度的に体外診断用医薬品のニーズは高まっていくと考えられます。さらに、新型コロナウイルスの感染拡大により、PCR 検査や抗原検査、抗体検査などの感染症検査領域においても注目を集めており、新型コロナウイルスに対応した診断薬の開発が活発化しています。これらを背景に製薬会社から、「診断薬の調剤/充填」「封止/包装/梱包」「保管/出荷」までをスピーディに対応したいという声が高まっています。

このような中で凸版印刷の持つ医療・医薬用包材の製造から梱包/発送までのノウハウと、トラストメディカルの持つ製薬会社とのネットワークと検査薬充填/検査キット製造の知見を掛け合わせることで、体外診断用医薬品の製造から医療機関に届くまでをワンストップで提供するべく、新会社を設立しました。

## ■ トップランメディカルファクトリーの特長

### 1. 検査キットの製作、薬の充填、パッケージング、発送までをワンストップで提供可能

トラストメディカルが持つ体外診断薬のキット化/供給実績と、凸版印刷が持つ医薬品向け機能性包材/各種添付文書の製造能力が融合することにより、体外診断用医薬品のキット化/パッケージングを実現。製品開発から出荷までをワンストップで提供可能です。



トップランメディカルファクトリーの展開する「ワンストップソリューション」

### 2. 多様な POCT 検査キットの開発・製造が可能

体外診断用医薬品の中でも、患者のすぐそばで、迅速に検査結果を判定することが可能な POCT (※1) 検査キットは、結果判定までの時間が大幅に短縮することからニーズが高まっています。同時に、キットがあればすぐに検査が可能になるので、世界的に普及することが見込まれています。

これを踏まえ、凸版印刷が持つ検査キットの設計機能と、トラストメディカルが持つイムノクロマト(※2) を代表とする試薬の製造能力を融合させ、多様な POCT 検査キットの開発/製造をスピーディに行っていきます。

### 3. 高い設備技術による「ものづくり力」

凸版印刷の、自社工場で導入/運用してきた製造システムの企画力/設計力と、トラストメディカルの持つ体外診断用医薬品の生産設備を、トップランメディカルファクトリーに展開することにより、高品質/高効率なものづくりが可能です。

## ■ 代表者コメント

### ・トップランメディカルファクトリー株式会社 代表取締役社長 藤原孝敏

新型コロナウイルスの流行を受け、体外診断薬業界には、これまで以上に、大きな社会的責任が課せられていると考えています。我々のお客さまが抱える課題に対して、適切なお提案を可能にするために、凸版印刷とトラストメディカルの持つリソースを結集し、その責任を果たすべくトップランメディカルファクトリーを設立しました。凸版印刷とトラストメディカルが連携することで、私たちのお客さまの多様なニーズに対応し、お客さまの成長・発展に貢献して参ります。

**・凸版印刷株式会社 常務取締役 西日本事業本部長 齊藤昌典**

このたび、体外診断薬における高い技術力を持つトラストメディカルとともに、トッパンメディカルファクトリーを設立し、高い技術力を持つ体外診断薬の製造基盤を確立できたことを、嬉しく思っております。凸版印刷は、トラストメディカル社と連携し、トッパンメディカルファクトリーの成長・発展に貢献するとともに、凸版印刷のヘルスケアビジネスの拡大に尽力して参ります。

**・トラストメディカル株式会社 代表取締役社長 福本幸造**

かねてより、共同開発を実施してきた凸版印刷とともに、トッパンメディカルファクトリーの設立が実現し、心より嬉しく思っております。トッパンメディカルファクトリーの設立は、トラストメディカルの事業拡大に大きく寄与するものであります。これからもトラストメディカルは、凸版印刷との連携をこれまで以上に強化し、トッパンメディカルファクトリーの発展に寄与して参ります。

**■ 今後の展開**

トッパンメディカルファクトリーは、体外診断用医薬品におけるワンストップソリューションの提案を進め、2025年度に50億円の売上を目指します。

**■ トッパンメディカルファクトリーの概要**

名称	トッパンメディカルファクトリー株式会社
本店所在地	兵庫県加西市朝妻町 1044 番地
代表者	代表取締役社長 藤原 孝敏
事業内容	体外診断用医薬品の製造
大株主及び持ち株比率	トラストメディカル 51% 凸版印刷 49%

※1 POCT(Point Of Care Testing:臨床現場即時検査)

臨床現場において、患者の側で行う検査。他の検査方法と比較して、検査結果を得るまでの時間が短く、患者の診断・治療を迅速に行うことを特徴としている。現在は検査機器・検査薬の進歩により、迅速・簡便に行える検査項目が増加しており、POCT市場が拡大している。

※2 イムノクロマトグラフィー

POCTにおける代表的な検査方法の一つ。検査キットに検体を添加し、発色するか否かで検査結果を判定することが可能。主に、インフルエンザの診断や、妊娠検査薬などで使用されている。近年検査キット・検査薬の開発が進み、イムノクロマトグラフィーを用いた検査項目が増加しており、POCT市場の拡大を牽引している。

\* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

\* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上